

臨床検査技師

坂総合病院検査部門のお仕事



臨床検査技師は患者様の病態を把握するため、適切な臨床検査情報の提供と管理を行う職種です。

臨床検査技師のお仕事は大きく分けて、検体検査と生理検査に分かれます。

検体検査は、患者の身体から採取した検体(血液・尿・喀痰など)の検査を行う部門です。その中で免疫、生化学部門、血液部門、一般検査部門、輸血部門、細菌部門、病理部門などに分かれます。生理検査部門では患者さん本人の身体から直接生体反応を調べます。ここでは心電図やエコーなど

1

病院検査室

本院2階の緊急検査及び輸血関連業務を行う。
交代で24時間体制

2

生理検査室

本院1階、心電図など身体から直接情報を得る。
クリニック2号館でも可

3

クリニック検査室

1号館B1F、主に検体検査。各部門と細菌検査室があります。

検体検査部門



各種機器を駆使して検体を分析し、生化学、血算、凝固など多くのデータを得ることができる。

生理検査部門



心電図やエコーなど、患者様の身体を直接検査し、病態の把握をする。

細菌検査部門



細菌の培養・同定、薬剤耐性などを調べる。

を始め、循環器科分野、神経生理分野、耳鼻科分野、消化器科分野など様々な領域にわたって検査を行います。エコーでは腹部などの消化器科分野のみならず、最近では筋・骨格系の観察、肘部管症候群などの神経が障害される疾患の原因解明など整形外科分野にも利用されています。また、病院2階検査室では2交替夜勤体制をとり、主に緊急検査・輸血の対応を24時間体制をとっています。



他職種との連携について

MRI撮影、手術中エコー、採血業務の支援、糖尿病療養指導、心臓リハビリへの参加など

当院では多くの部門と連携し、職域をこえて治療にあたります。主なところでは放射線科と連携して隔週交代でMRI撮影を担当、採血室への業務支援をはじめ、循環器科での経皮的血管形成術ではエコーを担当し、そのガイド下で治療を行います。リハビリ科との連携では、拘縮した筋肉をほぐすためのボトックス治療などを行うなど、医師と連携して治療にあたります。その他では心臓リハビリを進める上で、患者状態を把握し、効果的にリハビリを進めるための心肺運動負荷試験を理学療法士と共に行うなど多職種と連携して検査を行います。また、多くの

委員会・チーム活動の中で、感染リンクナースを中心としたICTでは、中心となる当院に限らず、周辺の2市3町の医療機関と連携をとり、地域全体をサポートしています。また、褥瘡・栄養サポートチームと共に病棟ラウンドへの参加、糖尿病教室での講師、心臓リハビリカンファレンスなど様々な分野でチーム医療に参加し、職域を超えた経験を通して、医療人としてのスキルアップを目指します。

“見学・問い合わせなどは”

〒985-0835 宮城県多賀城市下馬2丁目13-7
公益財団法人 宮城厚生協会 人事担当課長 鈴木
崇一(スズキ ソウイチ) 電話:022-361-1113(代
表) 022-361-1154(直通 人事管理部)

✉ jinjin@zmkk.org

当院の検査部門は

臨床検査の担い手として、適切な臨床検査情報の提供と管理を理念に業務に従事しています。

当院は地域に根ざし、地域のいのちと健康をあずかる厚い信頼に応えるため、地域医療支援病院として地域の医療機関との連携を強めるとともに24時間365日の救急診療を行っています。この基本方針の一翼を担うため、各分野での専門性を身につけつつ、検査全般ができる臨床検査技師を目指し、教育・育成カリキュラムを充実させ、職員育成を行っています。

